

自然災害発生時におけるBCP
業務継続計画

法人名	社会福祉法人 友愛会		
種別／施設	介護老人福祉施設 山県グリーンビレッジ 短期入所生活介護 長良グリーンビレッジ		
代表者	理事長 渡邊 英里		
所在地	山県グリーンビレッジ 岐阜県山県市大門 803 番地	電話番号	0581-36-1050
	長良グリーンビレッジ 岐阜県岐阜市長良福光 161-1	電話番号	058-297-0112

～～ 目 次 ～～

1. 総論	
(1)基本方針	2
(2)推進体制	2
(3)リスクの把握 ①ハザードマップ ②被害想定 地震発生時の職員行動マニュアル	3
(4)備蓄品	8
(5)研修訓練の実施	10
(6)衛生面(トイレ等)対策 ①トイレ対策 ②汚物対策	10
(7)資金手当て	11
2. 緊急時の対応	
(1)BCP発動基準	11
(2)安否確認 ①利用者の安否確認 ②職員の安否確認	11
(3)職員の参集基準	12
(4)施設外の避難場所・避難方法	12
(5)職員の管理 ①休憩・宿泊場所 ②勤務シフト	12
(6)復旧対応 ①業者連絡先一覧の整備 ②情報発信	13
3. 他施設との連携	
(1)地域のネットワーク等の構築・参画	14
※ 災害用伝言サービス「171」&「web171」	15

総論

(1) 基本方針

- ①. 人命を守ること、安全を確保することを最優先とする
職員、家族、福祉サービス利用者の安全確保を最優先に行う。また、利用者、職員の安全な避難場所及び復旧作業等に必要な場所を確保する。
- ②. 人員・資機材の横断的調整
人員・資機材の確保・配分については、法人内で横断的な調整を行う。
- ③. 社会的責務の遂行を基本とする
速やかに事業継続計画(BCP)を発動し、法人福祉活動継続のために必要な体制をとるとともに、活用可能な資源を最大限に活用する。
- ④. 関係機関との連携を図る
 - ・山縣市及び岐阜市(市社会福祉協議会)を始めとする関係機関と連携を強化する。
 - ・地域の一員として、地域住民や周辺自治体との協調に努める。
 - ・ボランティアの派遣・受け入れ等、また救助品等の配分、供給に努める。

(2) 推進体制

平常時の災害対策の推進体制		
主な役割	部署・役職	
責任者	理事長	
BCP 推進責任者	統括施設長	
山県グリーンビレッジ BCP 推進チーム	事務局長	
	次長	
	法人事務局主任	
長良グリーンビレッジ BCP 推進チーム	所長	
	係長	
	主任相談員	
災害対策本部体制(BCPを発動し事業継続を実施する体制)		
主な役割	担当者	代行者
責任者(災害対策本部長)	理事長	統括施設長
副責任者(災害対策本部長代理)	統括施設長	事務局長
対策本部事務局	法人事務局長	法人事務局主任
○山県グリーンビレッジ		
総務・連絡調整・施設管理	法人事務局主任	事務主任
救急・医療支援	次長	医務主任
介護班	次長	介護主任
栄養・食料調達班	管理栄養士	法人事務局主任
○長良グリーンビレッジ		

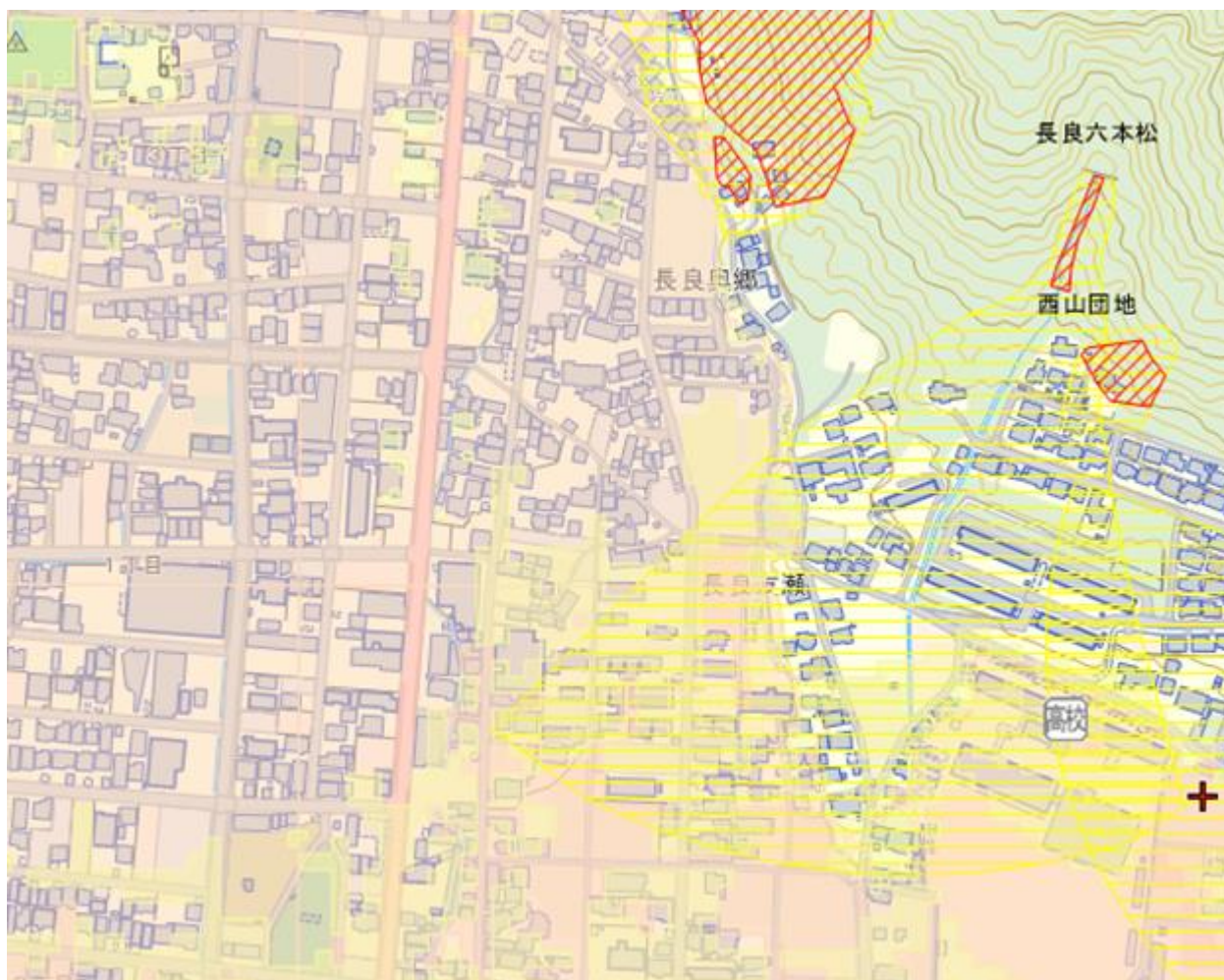
総務・連絡調整・施設管理	所長	主任生活相談員
救急・医療支援	参与	係長
介護班	係長	介護主任
栄養・食料調達班	栄養士	所長

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認



予想される浸水の深さ	建物の階層 (戸建て住宅の場合)
5m以上 (3階浸水)	4階建て以上 3階建て以下
3m～5m (2階浸水)	3階建て以上 平屋または2階建て
0.5m～3m (床上浸水)	2階建て以上 平屋建て
0.5m未満 (1階床下浸水)	全ての建物



② 被災想定

【自治体公表の被災想定】

●地震災害

南海トラフの巨大地震の場合

山縣市大門地区 震度 最大 5.50 最少 5.33

液状化 最大 11.99

土砂災害 警戒区域外

建物外壁の破損落下が想定される。なお主要構造物の損傷は想定されない。
(山県グリーンビレッジは沼地を埋立のため表示より大きい)

長良福光地区 震度 最大 5.85 最少 5.63

液状化 最大 28.7 = 液状化現象の可能性が高い

土砂災害 警戒区域外

建物外壁の損傷落下、雑壁の損傷、主要構造物の損傷(柱のひび割れ)が想定される。

(液状化危険度:極めて大きい 30⇔小さい 0)

●豪雨台風災害

山県グリーンビレッジ

土砂災害は警戒区域外。施設そのものは洪水災害は想定されていない。

地域が洪水の場合は伊自良地区南部からの道路が寸断される。北部の美山地区と大桑地区からの道路は土砂崩れや倒木による閉鎖があり得る。

台風の暴風による樹木の倒木被害や窓ガラスが割れる被害が想定される。

長良グリーンビレッジ

土砂災害は警戒区域外。

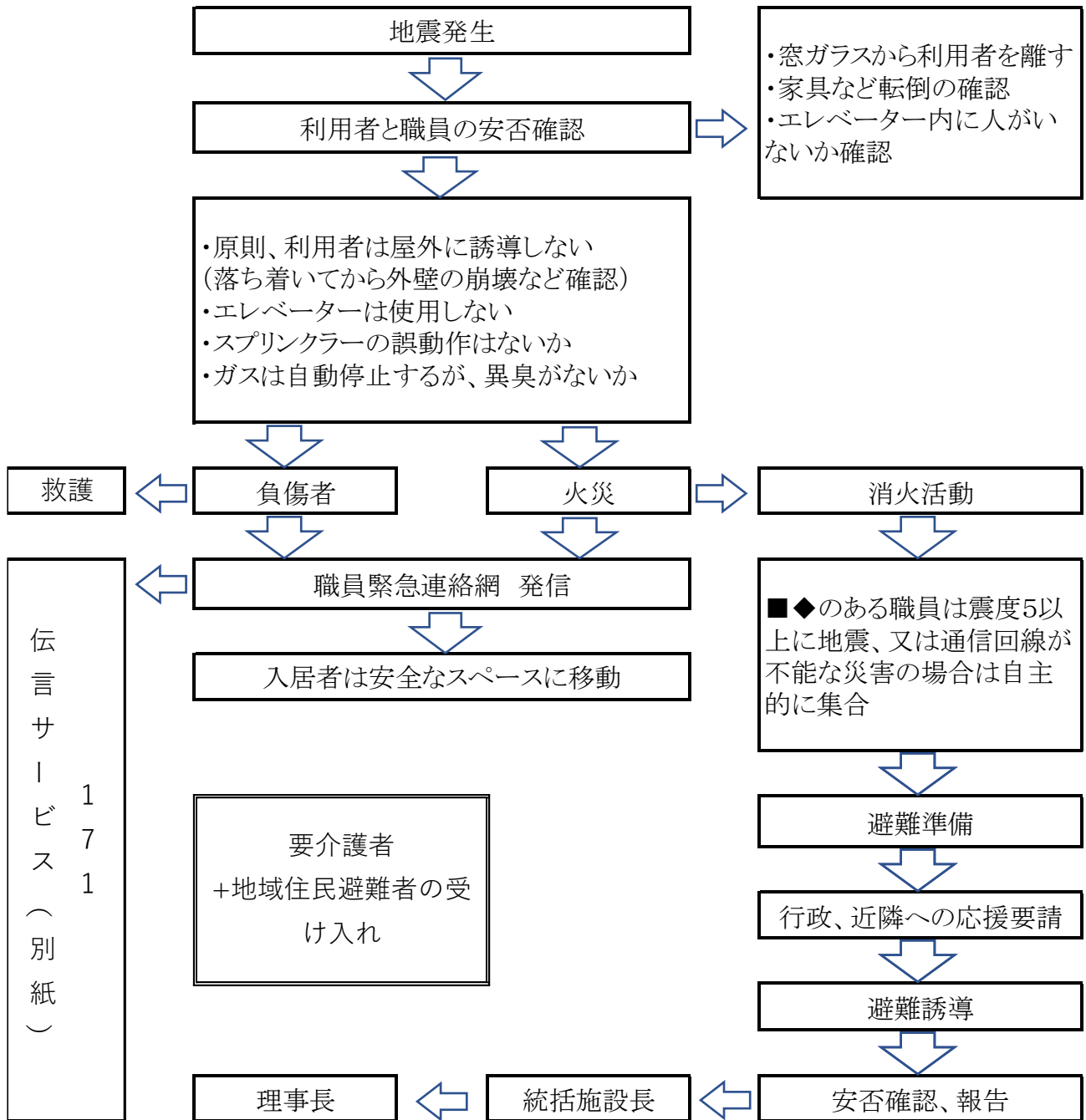
洪水警戒区域 0.5m、道路が寸断される。

台風の暴風による看板の転倒や窓ガラスが割れる被害が想定される。暴風時に窓ガラスのサッシから霧状の水が入ってくる。

【想定される影響、時系列的にみた重要業務と優先順位】

災害と経緯	直後(夜勤帯)	6時間後	1日後	3日後	4日後	7日後
出勤率	10%	30% 生命を守るため必要最低限の人員	50% 食事・排泄中心、その他は減少又は休止	70% ほぼ通常、一部減少又は休止	80%	90% ほぼ通常
在庫量	100%	90%	70%	20%	10%	在庫正常
電力	停電	自家発電(最低限の発電)			復旧見込	復旧
水道水	断水	飲料水は備蓄水を使用			復旧見込	復旧
エレベーター 冷蔵庫・洗濯機	停止 電力復旧待ち				復旧見込	復旧
業務基準	職員・入所者の安全確認のみ	安全と生命を守るための必要最低限	簡易な食事、排泄中心であり、その他は休止	備蓄品の炊き出し、復旧の範囲で調理再開	食材の納品状況、炊き出し、光熱水の復旧の範囲で調理再開	
食事・食事介助	中止、水分補給のみ		減少、備蓄食の提供	朝・昼・夕食の提供	通常の食事を提供	
入浴・入浴介助	中止		状況に応じて清拭を行う		復旧次第、通常の入浴を提供する	
排泄・排泄介助	高架水槽分はトイレ可		高架水槽ポンプを発電機にて稼働しトイレ可		復旧見込	復旧
	ポータブルトイレ					
洗濯	中止、使捨て対応			必要最低限		ほぼ通常
シーツ交換	汚れた場合のみ			必要最低限		ほぼ通常
見守り・褥瘡	ナースコール、センサー、エアマット、全照明停止				復旧見込	復旧
情報管理	PC停止、紙ベースで対応				復旧見込	復旧
冷暖房	冷:大型扇風機、車両の冷房を利用 暖:大型ファンヒーター&ストーブ				復旧見込	復旧

地震発生時の職員行動マニュアル



(4) 備蓄品

山県グリーンビレッジ 備蓄品一覧 (令和3年4月1日現在)

分 類	品 名	内 容
食糧等	入居者用非常食（主食：粥、パン）（副食：カレー、そばろ）飲料水	95名×3日分
	近隣住民用非常食（主食：パン・味付けご飯）（副食：カレー他）飲料水	50名×3日分
	大鍋用ガスコンロ	2台
	カセットコンロ	5台 ガス20個
	木炭コンロ、中鍋、炭30kg、薪30kg	一式
	水容器	20ℓ×10袋 12ℓ×5袋
	お米	10kg×2袋（約230食分）
情報機器	ラジオ	1台
照明等	非常発電機	1台
	ポータブル発電機	6台（2.5kw5台・0.8kw1台）
	懐中電灯	4台
	ランタン	8台
	乾電池 単1 20本、単2 20本、単3 40本	
空 調	大型ファンヒーター（電源要）	3台
	大型ストーブ	1台
	電気ストーブ	6台
	リビング扇風機（床置き）	大型4台 家庭用10台
	次亜塩素酸空気清浄機	9台
	高性能大型空気清浄機	2台
医薬品 衛生用品	救急セット＝不織布 200枚、消毒液マスクイン 500ml、クロソ消毒用イソプロパノール500ml、スキナゲート（絆創膏）3巻、バンドエイド1箱、滅菌綿棒30本	
	デジタル血圧計、体温計、パルスオキシメーター、吸引機、吸引カテーテル	非常時用 一式
	アイスノン	3個
	オムツ（パッド）	9300枚
	オムツ（テープ止め）	816枚
	オムツ（パンツ型）	184枚
	使い捨てプラスチック手袋	100箱

	ペーパータオル	80袋
	使い捨てマスク	6000枚
	トイレットペーパー	196ロール
その他の物資	車いす	5台
	簡易ベッド	1台
	ポータブルトイレ	2台
	マットレス	10枚
	畳	15枚
	簡易パーテーション	6個
	掛け布団・掛毛布	各5枚

長良グリーンビレッジ 備蓄品一覧（令和3年4月1日現在）

分 類	品 名	内 容
食糧等	入居者用非常食（主食：粥、パン）（副食：カレー、そばろ） 飲料水	46名×3日分
	近隣住民用非常食（主食：パン・味付けご飯）（副食：カレー他） 飲料水	50名×1日分
	カセットコンロ	1台 ガス3個
照明等	ポータブル発電機	2.3kw 2台
	懐中電灯	1台
	ランタン	23台
	乾電池 単1 4本、単3 52本、単4 21本	
空 調	大型ファンヒーター（電源要）	1台
	大型ストーブ	1台
	リビング扇風機（床置き）	家庭用3台
	次亜塩素酸空気清浄機	5台
	高性能大型空気清浄機	2台
医薬品 衛生用品	救急セット＝不織布 200枚、消毒液マスキング水 500ml、クロソ消毒用イソプロパノール500ml、スキナゲート（絆創膏）3巻、バンドエイド1箱、滅菌綿棒30本	
	デジタル血圧計、体温計、パルスオキシメーター	非常時用 一式
	使い捨てプラスチック手袋	20箱

	ペーパータオル	12袋
	使い捨てマスク	3000枚
	トイレトペーパー	48ロール
その他の物資	車いす	4台
	簡易ベッド	1台

(5) 研修・訓練の実施

毎年防災訓練を3回実施する(うち避難消火通報訓練は2回以上実施)、各施設の経営会議
毎月の職員会議を通じて周知していく。

(6) 衛生面(トイレ等)の対策・・・

被災時は、汚水・下水が流せなくなる可能性があるため、衛生面に配慮し、トイレ・汚物対策

① トイレ対策

【利用者／職員】

山県グリーンビレッジ

最大容量48m³の水道水が貯水槽にあり、停電時はポータブル発電機にてポンプを稼働させて、高架水槽に水を送る。断水中は入浴中止にして、生活用水は大便を下水に流すことに優先して使用する。

4日目以降はポータブルトイレにて排泄する。

長良グリーンビレッジ

高架水槽がないので、断水と同時にトイレが使えなくなる。ポータブルトイレにて排泄する。

② 汚物対策

山県グリーンビレッジ

ごみ置き場に3日分保管、4日目以降は屋根付き駐車場でネットで覆い保管する。

長良グリーンビレッジ

ごみ置き場に3日分保管、4日目以降は5階の倉庫又は屋上でネットで覆い保管する。

(7) 資金手当て(災害に備えた資金)

小口現金 山県グリーンビレッジ 20万円以内 長良グリーンビレッジ 20万円以内

2. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

以下の指標を総合的に勘案して、事業の継続に著しい影響があると判断される場合

- ・交通網の寸断や職員の負傷等による出勤可能な職員の不足
- ・法人所有建物や設備等の被害状況
- ・電気・上下水道・ガス・通信等の重要インフラの途絶

・食糧等の状況

【地震による発動基準】

震度5以上又は通信回線が不能な震災の場合 → 自主的に各施設に集合理事長もしくは危機管理委員長が緊急に対応する必要があると認めた場合

【水害による発動基準】

床上浸水又は通信回線が不能な震災の場合 → 自主的に各施設に集合理事長もしくは危機管理委員長が緊急に対応する必要があると認めた場合

【BCP解除】

上記指標等の障害が回復し、事業への支障が解消したと判断される場合

管理者が不在の場合の代替者

管理者	代替者①	代替者②
統括施設長	山県 GV 事務局長 長良 GV 所長	山県 GV 次長 長良 GV 係長

(2) 安否確認

① 利用者の安否確認

【安否確認ルール】

最優先事項:施設内の巡回をして、利用者の所在安否確認をする。

② 職員の安否確認

【施設内】

施設内の巡回をして、利用者・建物設備の確認と同時に行う。

【自宅等】

緊急連絡網による確認、※171 災害用伝言サービス(添付資料)の利用。

(3) 職員の参集基準

各施設の被害状況に応じて「災害対策本部」の判断による。なお、震度5以上の震災があった場合や通信回線が不能な震災が発生した場合は、連絡がなくとも自主的に集合すること。ただし、自宅が被災した場合、家族親族の安否が不明の場合等は、参集できない事態となる。職員各々の自己判断となるであろう。

なお、家族が避難生活を送る事態となったら、施設に宿泊できるように対応する。

(4) 施設内外での避難場所・避難方法

避難場所	山県グリーンビレッジ 避難場所の設定はない。 高台にあり洪水の心配はない。また土砂崩れの危険もない。地域の避難場所よ
------	---

	り安全な地域となっている。 万が一の場合は、隣接地にある「介護老人保健施設山県グリーンポート」と臨機応変に協力体制を図ることと、次に市内の「福祉避難所」として指定された施設の協力を得ることとする。 長良グリーンビレッジ 岐山高校が地域避難場所(土砂崩れを除く) 洪水警戒区域 0.5mであり1階フロアの浸水が発生する。利用者の居住区域は2階3階であり施設内での避難の必要性はない。 地震により建物外壁の損傷落下、雑壁の損傷、主要構造物の損傷などにより避難の必要がある場合は、各利用者の帰宅が基本となる。自宅も震災により生活が困難な場合は、各事業所と連携の上で「福祉避難所」として指定された施設の協力を得ることとする。
--	---

(5) 職員の管理

① 休憩・宿泊場所

震災発生後、職員が長期間帰宅できない状況も考えられる。

休憩場所及び宿泊場所	
山県GV 家族室	畳部屋、布団一式あり
山県GV ボランティア室	
山県GV ユニット2階会議室	
山県GV 1階フロアー	可動式畳10個あり
長良GV 1階会議室	
長良GV 機能訓練ホール	

② 勤務シフト

災害発生後、職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性がある。参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むように検討する。

(6) 復旧対応

① 破損個所の確認

利用所の安否確認を最優先、同時に大きな破損個所を確認する。落ち着いてから内壁・外壁・窓ガラス、家具など巡回確認をする。

② 業者連絡先一覧の整備

山県グリーンビレッジ 緊急時連絡			R3. 1現在
警 察	山県警察署	110	Tel22-0110

消 防	山県市消防本部	119	TEL22-0119
役 所	山県市役所		TEL22-2111
	山県市役所 健康介護課		TEL22-6838
建物管理	内藤建設	TEL058-272-0225	
	矢島建設興業	TEL058-252-1292	
電気停電	中部電力岐阜支店	TEL058-265-1111	
電気漏電	日本テクノ(株)	TEL0120-81-2499	
空調関係	ダイワテクノ	TEL058-232-8543	
その他電気	トーエネック岐阜支店	TEL058-272-9945	
ガス全般	新日本ガス岐阜支店	TEL058-231-0531	
水道	朝日設備	TEL058-231-5411	
	タイハウ産業	TEL058-255-0561	
配電盤・電話	アプロ通信	TEL058-272-3016	
大型洗濯機・乾燥機	大橋製作所(株)	TEL052-624-4745	
パソコン関係	アプロ通信	TEL058-272-3016	
パソコン関係 インターネット環境	ワイズマン中部支店	TEL058-267-4477	
	(株)アスア	TEL052-452-5600	
エレベーター	日立ビルシステム	TEL058-253-3607	
酸 素	メディカルサカイ	TEL058-231-3235	

長良グリーンビレッジ 緊急時連絡			R3.1現在
警 察	岐阜北警察署	110	TEL233-0110
消 防	岐阜北消防署	119	TEL231-5308
役 所	岐阜市役所		TEL265-4141
建物管理	内藤建設	TEL058-272-0225	
	矢島建設興業	TEL058-252-1292	
電気停電	中部電力岐阜支店	TEL058-265-1111	
電気漏電	日本テクノ(株)	TEL0120-81-2499	
空調関係	菱和エアコン	TEL058-260-7256	
その他電気	トーエネック岐阜支店	TEL058-272-9945	
ガス全般	東邦ガス(株)	TEL058-231-0531	
水道	松波テクノ	TEL058-232-3171	
	タイハウ産業	TEL058-255-0561	

配電盤・電話	アプロ通信	TEL058-272-3016
パソコン関係	アプロ通信	TEL058-272-3016
	ワイズマン中部支店	TEL058-267-4477
インターネット環境	(株)アスア	TEL052-452-5600
エレベーター	日立ビルシステム	TEL058-253-3607
酸素	メディカルサカイ	TEL058-231-3235

③ 情報発信（行政関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）

県庁地域福祉事務所	TEL 058-272-1930	FAX 058-278-3526
県庁岐阜保健所本巣山県センター	TEL 058-213-7268	FAX 058-278-0053
各務原市岐阜保健所	TEL 058-380-3003	FAX 058-371-1233
岐阜市介護保険課	TEL 058-214-2093	FAX 058-267-6015
山県市健康介護課	TEL 0581-22-6838	FAX 0581-22-6841

3. 他施設との連携

(1) 地域のネットワーク等の構築・参画

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ	058-231-2631	協力医療機関協定の締結
岐北総合病院	0581-22-1811	協力医療機関協定の締結
福富医院	058-238-8555	山県グリーンビレッジ嘱託医

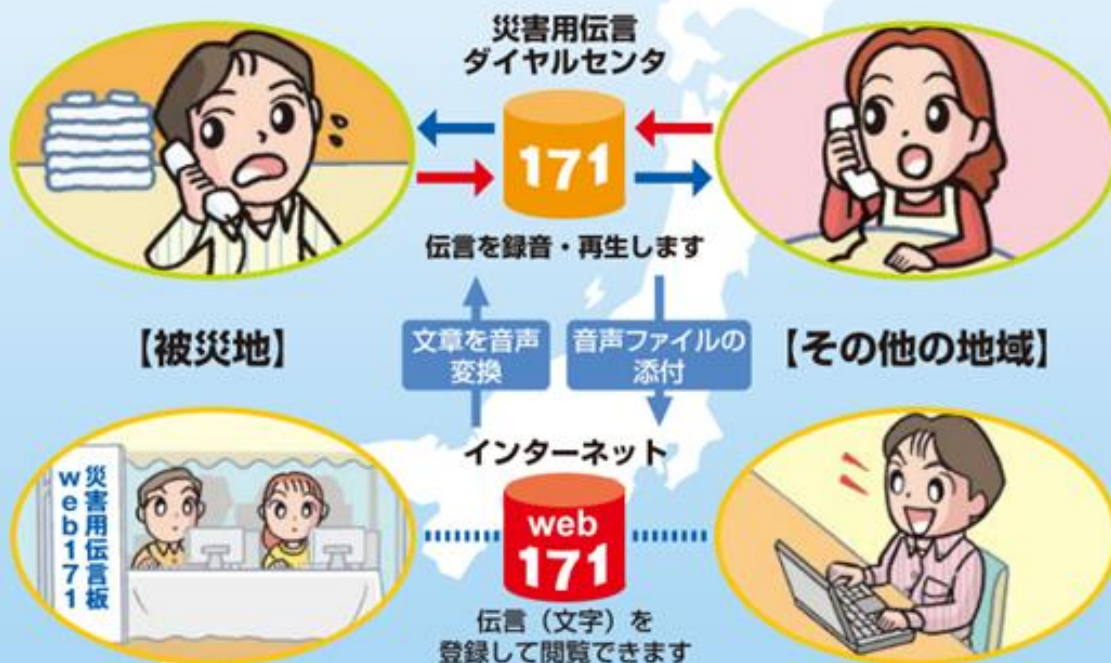
この自然災害発生時におけるBCP（業務継続計画）は令和3年9月1日より実施する。

災害用伝言サービス「171」&「web171」

NTT西日本が提供する災害用伝言サービスには、電話を利用する声の伝言板「災害用伝言ダイヤル171（電話サービス）」とインターネットを活用する「災害用伝言板web171」があります。

大規模災害発生

電話による安否確認の連絡が取りにくいときの、被災地域内やその他の地域の方々との伝言板です。



ご利用方法

裏面のご利用案内を確認の上、ご利用ください。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。 「災害用伝言ダイヤル171」

利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
1 171 にダイヤルする ▼ガイダンスが流れます 2 録音する場合は 1 確認番号を利用する 録音は「3」 ▼ガイダンスが流れます 3 () 被災地の電話番号*、携帯電話・P4G 4G 携帯電話の電話番号をダイヤルしてください。 * 市外局番からダイヤルしてください。	1 171 にダイヤルする ▼ガイダンスが流れます 2 再生する場合は 2 確認番号を利用する 再生は「4」 ▼ガイダンスが流れます 3 () 被災地の電話番号*、携帯電話・P4G 4G 携帯電話の電話番号をダイヤルしてください。 * 市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。 「災害用伝言板web171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法	閲覧方法
1 https://www.web171.jp にアクセス 2 電話番号を入力 () 被災地の電話番号*、携帯電話・P4G 4G 携帯電話の電話番号を入力してください。 * 市外局番から入力してください。 3 画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください	1 https://www.web171.jp にアクセス 2 電話番号を入力 () 被災地の電話番号*、携帯電話・P4G 4G 携帯電話の電話番号を入力してください。 * 市外局番から入力してください。 3 画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録をしてください